

少年を「使い捨て」にする 「闇バイト」の現実 ～犯罪実行者募集の実態～

茨城県警察



現在、目先の利益を手に入れるため、少年が「闇バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが、大きな社会問題となっています。

社会的に「闇バイト」という用語が使用されていますが、これは単なるアルバイトなどではなく、「犯罪」です。

「闇バイト」の募集は、犯罪実行役を手広く募集するものです。

また、「危険を冒して次々と犯罪を実行したにもかかわらず、一切の報酬が支払われなかった」「警察に密告された結果、逮捕されてしまった」といった事例に見られるように、犯行グループは約束の報酬を元から支払うつもりはなく、少年を都合よく利用した後、簡単に「捨て駒」として切り捨てます。

さらに、それだけでなく、犯行グループは入手した個人情報をもとに、少年を執拗に脅迫し、恐怖心を植えつけることで、少年が犯罪に加担することを断ったり、犯行グループから離脱したりすることを阻止します。少年の家族に脅しがある事例もあります。

たった一度でも手を染めれば、最後には必ず警察に検挙されます。なぜなら、警察に逮捕されるまで脅され続けるからです。関わって得られるものは、何もありません。

また、犯罪によって、被害者やその家族に一生消えることのない深い傷を与えることになり、他人の人生も台無しにするのです。

本日は、そんな「闇バイト」の実態について、皆さんにお知らせいたします。

今日の授業について



1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

今日の授業は、このような流れでお話したいと思います。
大きく分けて、三つの話をします。

- 一つ目は、応募から検挙されるまで
- 二つ目は、迎える結末
- 三つ目は、それぞれの声

というものです。

今日、この授業を受けた後、皆さんは、どんな理由があろうと、「闇バイト」に手を染めることはなくなります。

なぜなら、「闇バイト」をしても、報酬を得られる可能性は限りなく少なく、得をすることは何もないことを知るからです。

それでは、始めます。

1 応募から検挙されるまで

基本的なパターン



- ① 自らSNSで「高額報酬」等を検索・応募
- ② 犯行グループから連絡が入り、以降、匿名性の高いアプリでやりとり
- ③ 犯行グループに言われるがまま個人情報を送信
- ④ 犯罪行為への加担を拒否すれば犯行グループが個人情報を基に脅迫

はじめに応募から検挙されるまでについてお話します。

少年たちが「闇バイト」に応募し、犯罪行為に加担するまでの流れには、いくつかのパターンが存在します。

最も多く見られる基本的なパターンが、

自らSNSで「高額報酬」等を検索・応募

犯行グループから連絡が入り、以降、匿名性の高いアプリでやりとり

犯行グループに言われるがまま、個人情報を送信

犯罪行為への加担を拒否すれば、犯行グループが個人情報を基に脅迫

というものです。

ここでは基本的なパターンの4段階について、事例を交えながら紹介します。

1 応募から検挙されるまで

(1) 募集情報への応募

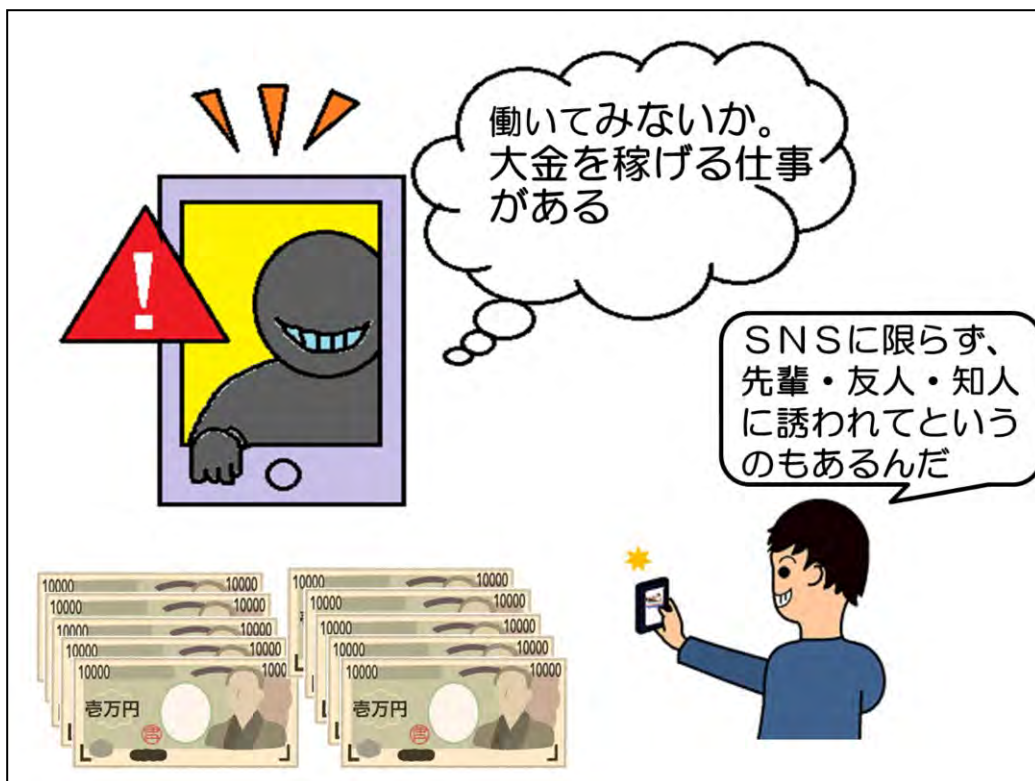


「#高額報酬」
「#闇バイト」等
と検索し自ら応募



少年たちは、自ら一般的なSNS、コミュニティーサイトなどで、「高額報酬」、「闇バイト」などと検索し応募します。

また、少年の場合、自ら応募する以外にも、「先輩・友人にさそわれた」といったものが一定数あり、少年が「闇バイト」に応募するきっかけの特徴の1つとして挙げられます。



少年たちが自ら応募したケースとして、

Xに「お金に困っている」旨の書き込みをしたら、犯行グループから、「働いてみないか。大金を稼げる仕事がある」などのメッセージが届いた。

Xで「仕事を探している」旨の書き込みをしたら、地元の先輩から連絡があり、その後、知り合いのヤクザを紹介された。

パパ活をするためにXを利用していたら、犯行グループから、「パパ活ではないが、荷物を受け取るだけの仕事をしないか」旨の連絡が届いた。

というものがあります。

また、先輩・友人・知人に誘われたケースとして、

仕事を探していたら、先輩・知人等から、「闇バイト」を紹介された。

先輩がSNSで見つけてきた「闇バイト」に誘われて、一緒に加担した。

先輩から金銭トラブルをふっかけられ、借金返済のために「受け子」の役目を強要された。

職場の社長が知人から紹介された「高収入」の仕事を請け負い、社長からの指示で、「受け子」として犯行に加担した。

というものがあります。

「闇バイト」のきっかけは、SNSのイメージが強いのですが、実際は、普段の人間関係も大きく影響してきます。

仲のよい先輩・友人・知人からさそわれたらどうしますか。

断る勇気はありますか。

ここで断れなければ、最後に待っているのは、「犯罪行為への加担」です。

1 応募から検挙されるまで

(2) 犯行グループとのやりとり



応募が完了すると、犯行グループから、応募者である少年たちへ連絡がはいらいます。

犯行グループは少年たちに、一定時間が経過すると、通信履歴が消去されるなどの機能を有する、匿名性の高いアプリテレグラム、シグナル等を強制的にインストールさせ、以降のやりとりについては、このアプリを使って行うよう指示をします。

○ アルバイト求人サイトに正規のハンドキャリーの仕事（日給15,000円程度）として人材募集広告が掲載されていた。履歴書を送らせるなど一見、正当な仕事だと思ったが

- ・ 会社との面接は通話のみで実際に会うことはない
- ・ 会社の者から、匿名性の高いアプリを入れるように言われ、以後の指示等はインストールしたアプリのみで実施
- ・ 報酬の支払い方法は指定された場所に現金が置いてある

などの不審点がいくつもあり、実際の仕事内容は特殊詐欺の「受け子」だった。

会社の人と実際に会わず、SNSのみでのやりとりは「闇バイト」



犯行グループが、匿名性の高いアプリをインストールするように指示してきた事例を紹介します。

アルバイト求人サイトに、正規のハンドキャリーの仕事、日給15,000円程度として人材募集広告が掲載されていた。

履歴書を送らせるなど一見、正当な仕事だと思ったが、

会社との面接は通話のみで実際に会うことはない

会社の者から、匿名性の高いアプリを入れるように言われ、以後の指示等はインストールしたアプリのみで実施

報酬の支払い方法は指定された場所に現金が置いてある

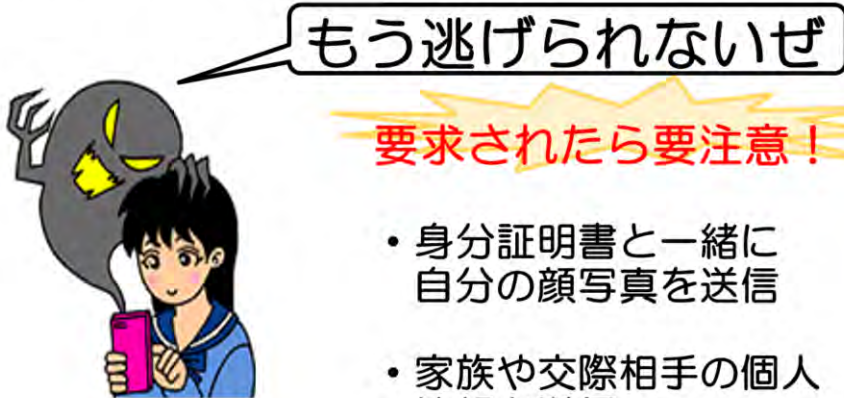
などの不審点がいくつもあり、実際の仕事内容は特殊詐欺の「受け子」だった。

というものもあります。

会社の人と実際に会わず、SNSのみでのやりとりは、「闇バイト」の可能性が高いです。

1 応募から検挙されるまで

(3) 犯行グループへ個人情報を送信



要求されたら要注意!

- 身分証明書と一緒に自分の顔写真を送信
- 家族や交際相手の個人情報を送信
- 動画等を送信

少年たちは犯行グループとのやりとりの中で、「アルバイトをするための登録情報として必要」などと、言葉巧みに個人情報を要求され、言われるがまま、身分証明書などの写真をアプリで送信してしまいます。

要求されたら要注意なものとして、

身分証明書と一緒に自分の顔写真を送信

家族や交際相手の個人情報を送信

動画等を送信

というケースがありますが、まず、闇バイトに限らず、SNSでの個人情報の送信は絶対避けましょう。

SNSを含め、インターネット上に自分の個人情報を送信してしまうと、誰がどのようにその情報を使うかわかりません。

本来、身近な人とのやりとりでも、個人情報の取扱は慎重でなければなりません。

事例ごとに見てみましょう。

事例1 身分証明書と一緒に自分の顔写真を送信

- ① 匿名性の高いアプリを使って顔写真と身分証明書を送るように言われ、保険証と一緒に顔写真を送信してしまった。
- ② 匿名性の高いアプリで個人情報を送るように言われ、住民票と自撮りの顔写真を送信してしまった。

身分証明書と顔写真を合わせると、
第三者が見ても個人の特特定が可能に



事例1 身分証明書と一緒に顔写真を送信

匿名性の高いアプリを使って写真と身分証明書を送るように言われ、保険証と一緒に顔写真を送信してしまった。

匿名性の高いアプリで個人情報を送るように言われ、住民票と自撮りの顔写真を送信してしまった。

というものがあります。

身分証明書と顔写真を合わせると第三者が見ても個人の特特定が可能になります。

事例2 家族や交際相手の個人情報を送信

- ① 犯行グループから住所だけでなく、家族構成や名前、勤務先等まで聞かれて伝えてしまった。
- ② 犯行グループから交際相手のことを聞かれ、彼女の名前や生年月日、顔写真を送信してしまった。

大切な人の個人情報を犯行グループに送信するよりも、大切な人に相談を



事例2 家族や交際相手の個人情報を送信

犯行グループから住所だけでなく、家族構成や名前、勤務先等まで聞かれて伝えてしまった。

犯行グループから交際相手のことを聞かれ、彼女の名前や生年月日、顔写真を送信してしまった。

というものがあります。

大切な人の個人情報を送信するよりも、大切な人に自分がやろうとしていることの相談をしましょう。

事例3 動画等を送信

- ① 犯行グループとの面接の際、スマホの中身（電話帳、写真、SNSの履歴等）を長時間かけてくまなく動画撮影された。
- ② 自分が住んでいるマンションの入口から部屋までの道のりを動画撮影するよう指示され、送信させられた。
- ③ 報酬を振り込むために必要と言われ、銀行名、名義、口座番号を伝えてしまった。
- ④ 自分の名前や住所、連絡先等と一緒に上半身裸の写真を送信させられた。

アルバイトに応募しただけなのに動画を要求されるのは「闇バイト」



事例3 動画等を送信

犯行グループとの面接の際、スマホの中身（電話帳、写真、SNSの履歴等）を長時間かけてくまなく動画撮影された。

自分が住んでいるマンションの入口から、部屋までの道のりを動画撮影するよう指示され、送信させられた。

報酬を振り込むために必要と言われ、銀行名、名義、口座番号を伝えてしまった。

自分の名前や住所、連絡先等と一緒に、上半身裸の写真を送信させられた。

というものがあります。

アルバイトに応募しただけなのに、動画を要求されるのは、「闇バイト」の特徴といえます。

犯行グループは、最初から、個人情報を入質に、あなたを組織の「捨て駒」として使うことしか考えていません。

1 応募から検挙されるまで

(4) 犯行グループによる脅迫行為



個人情報の送信が完了すれば、犯行グループから仕事の内容や詳細が伝達され、犯罪行為であることが明らかになります。

少年たちが犯罪行為への加担を拒否しようとするれば、犯行グループは、入手した個人情報をもとに、少年たちが犯罪行為に加担するまで、執拗に脅迫します。

本人や家族に対する脅迫、実家への押し掛けといったケースがあります。

それでは、事例ごとに見てみましょう。

事例1 本人や家族に対する脅迫 ①

- ① 警察に捕まるリスクが大きいと思い断ると「自宅に押し掛ける。母親から狙う」と脅され仕方なく「受け子」をやった。
- ② 「受け子」の仕事だと分かったが犯行グループから「逃げたらこうなるよ」と男が殴られる動画が送信されてきて怖くなった。

犯行グループはあなたやあなたの家族の個人情報をもとに脅し、「やるしかない」という気持ちにさせます。



事例1 本人や家族に対する脅迫

警察に捕まるリスクが大きいと思い断ると、「自宅に押しかける。母親から狙う」と脅され、仕方なく「受け子」をやった。

「受け子」の仕事だと分かった犯行グループから、「逃げたらこうなるよ」と、男が殴られる動画が送信されてきて怖くなった。

犯行グループはあらゆる方法で脅してきて、「やるしかない」という気持ちにさせます。

③ 途中で詐欺だと気づき「辞めたい」と言ったら「家族全員殺すぞ」などと脅迫されて「受け子」をやらざるを得なかった。

④ 犯行グループからの2回目の仕事を断ったところ「この前の荷物は、おばあさんからだまし取ったお金だ。詐欺の運び屋に加担したな。お前の顔写真や住所を知っているから逃げられないぞ。」と脅され、以降も「受け子」として加担せざるを得なくなった。

すぐに警察に相談してください！
警察は適切に対応し、あなたと家族を守ります。



途中で詐欺だと気づき、「辞めたい」と言ったら、「家族全員殺すぞ。」などと脅迫されて、「受け子」をやらざるを得なかった。

犯行グループからの2回目の仕事を断ったところ、「この前の荷物は、おばあさんからだまし取ったお金だ。詐欺の運び屋に加担したな。お前の顔写真や住所を知っているから逃げられないぞ。」と脅され、以降も「受け子」として加担せざるを得なくなった。

という事例があります。

すぐに警察に相談です。警察は適切に対応し、あなたと家族を守ります。

事例2 実家への押し掛け

「受け子」をして得た現金を別の犯行グループに横流したら、自身や実父へ架電された後、実家に押し掛けられた。

すぐに110番通報です！！
警察はあなたと家族を保護します。



事例2 実家への押し掛け

「受け子」をして得た現金を、別の犯行グループに横流したら、自身や実父へ架電された後、実家に押しかけられた。

というものがあります。

犯行で得た現金やキャッシュカードを持ち逃げしたり、横流しをすれば、当然、犯行グループの報復の対象となります。

実際に家族に電話がかかってきたり、押しかけられたりしたら、すぐに110番通報してください！

犯行グループの巧妙な手口

犯行グループは、少年たちが素直に指示に従っているうちは、「お前が一番かわいい後輩」「お前しかいない」「お前だけが特別」などと優しい言葉を掛けてきます。

しかし、少年たちが犯行グループから離脱する意思を示した途端、態度を豹変させ、本人や家族に対する脅迫等、あらゆる手段を使って犯行グループからの離脱阻止を図ります。

「闇バイト」を「アルバイト」だと思って、簡単にやめることができると思っていないか



犯行グループの離脱阻止のための、巧妙な手口を紹介しておきます。

犯行グループは、少年たちが素直に指示に従っているうちは、「お前が一番かわいい後輩」、「お前しかいない」、「お前だけが特別」などと優しい言葉を掛けてきます。

しかし、少年たちが犯行グループから離脱する意思を示した途端、態度を豹変させ、本人や家族に対する脅迫等、あらゆる手段を使って、犯行グループからの離脱阻止を図ります。

ここで思い出してほしいのは、「闇バイト」に手を染めるのは、自分でSNSで検索し応募するというのが、パターンのひとつであるということです。

やはり、「闇バイト」を検索・応募しなければ、こういうことにはなりません。

「闇バイト」を「アルバイト」だと思って、簡単にやめることができると思っていないませんか。

1 応募から検挙されるまで

(5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



犯行グループによる脅迫等の結果、少年たちは、犯罪行為に加担せざるを得ない状況となり、「受け子」などの役割を繰り返した結果、必ず検挙されることとなります。脅し等により、逮捕されるまで使い続けられることが特徴です。

犯行グループは、首魁を頂点に、勧誘役、指示役、かけ子、受け子等から成り立っており、受け子は犯行グループの末端であり、最も逮捕される立場にあるばかりでなく、逮捕されれば見捨てられます。

犯行グループからすれば、「闇バイト」に応募してくるような少年は、最初から、代わりはいくらでもいる「捨て駒」なのです。

逮捕されるまでの流れ

「受け子」などの犯行グループの末端として
仕方なく犯罪行為に加担



たった一度でも犯罪行為に加担すれば犯行
グループからの離脱は困難



何度も犯罪行為をやらされ、逮捕されるまで
使われ、逮捕されれば見捨てられる

「闇バイト」を「アルバイト」だと思って、
気軽にはじめて、気軽にはやめることができる
ものだと思っていなかったか



ここで、犯罪行為に加担してから、逮捕されるまでの流れを説明します。

「受け子」などの犯行グループの末端として、仕方なく犯罪行為に加担したとします。

しかし、たった一度でも犯罪行為に加担すれば、犯行グループからの離脱は困難になります。

なぜなら、犯行グループは個人情報に基づき少年たちを何度も脅迫するからです。

結局、何度も犯罪行為をやらされ、逮捕されるまで使われ、逮捕されれば見捨てられるのです。

犯行グループは、犯罪で金儲けをするために、自分たちが逮捕されないよう、少年たちを「捨て駒」として利用しているに過ぎません。

今日の授業を受けるまで、もしかしたら「闇バイト」を「アルバイト」だと思い、気軽にはじめて、気軽にはやめることができるものだと思っていませんでしたか。

「闇バイト」に手を染めた少年たちは、どのような結末を迎えるのでしょうか。

今日の講話について



1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

次に、迎える結末についてお話します。

「闇バイト」に手を染めた少年たちが迎える結末は、

「使い捨て」にされるか

勇気を持って犯罪から抜け出すか

のどちらかしかありません。

2 迎える結末

(1) 「使い捨て」にされる少年たち

犯行グループにだまされて報酬を得ることができなかった

犯行グループに密告され逮捕された

「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された



「使い捨て」にされる少年たちについてからお話します。

検挙された少年たちの大半が、「遊ぶ金がほしい」といった理由で、「闇バイト」に応募し、犯罪に加担させられています。

目先の遊興費を得るため、「1回だけなら大丈夫」、「嫌になったらすぐに辞めたらいい」といった、安易な考えで応募した結果、取り返しのつかない結果を招いています。

また、犯行グループによって、顔写真等の身分証明書が、SNS上に投稿されてしまえば、インターネットを利用する不特定多数の者が、少年たちの個人情報を閲覧できることとなってしまい、新たな犯罪に巻き込まれる危険性があります。

実際に

犯行グループにだまされ、報酬を得ることができなかった

犯行グループに密告され、逮捕された

「詐欺加担者」として、顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された

という事例があります。

事例1 犯行グループにだまされ報酬を得ることができなかった

① SNSで「闇バイト」に応募した先輩に誘われ「受け子」をすることとなったが、犯行グループから「金が必要になった」「振り込みをしてくれ」などと言われた。

言われるがまま指定された口座に「受け子」をして得た報酬を全て振り込まされ、結局、一円も手にすることができなかった。

一円も手にすることができないとわかっていたら「闇バイト」に応募しないはず



それでは、事例ごとに見ていきましょう。

事例1 犯行グループにだまされ報酬を得ることができなかった。

SNSで「闇バイト」に応募した先輩に誘われ、「受け子」をすることとなったが、犯行グループから、「金が必要になった」、「振り込みをしてくれ」などと言われた。言われるがまま、指定された口座に、「受け子」をして得た報酬を全て振り込まされ、結局、一円も手にすることができなかった。

② 遊ぶ金欲しさから「受け子」として詐欺行為に加担し被害者から現金を受け取った。

犯行グループからは事前に「被害者から受け取った金は全て回収役に渡せ」「報酬は口座に振り込む」と言われていたので現金を全て渡した。

しかし、その後、一向に報酬は振り込まれず「次もやれば渡す」などと言われていたが、結局、報酬は一度も支払われることなく捕まった。

犯罪者が「捨て駒」に報酬を支払うのだろうか



遊ぶ金欲しさから、「受け子」として詐欺行為に加担し、被害者から現金を受け取った。

犯行グループからは、事前に「被害者から受け取った金は全て回収役に渡せ」、「報酬は口座に振り込む」と言われていたので、現金を全て渡した。しかし、その後、一向に報酬は振り込まれず「次もやれば渡す」などと言われていたが、結局、報酬は一度も支払われることなく捕まった。

③ 犯行グループから「報酬は後でまとめて払う」などと聞いていたが、結局、報酬が支払われることはないまま逮捕された。

④ 「受け子」としてキャリーケースを持って全国を転々とさせられた。

逮捕されるまで家にも帰れず、ホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けていた。

犯行を重ねた先に、待っているのは報酬ではなく逮捕



犯行グループから、「報酬は後でまとめて払う」などと聞いていたが、結局、報酬が支払われることはないまま逮捕された。

「受け子」としてキャリーケースを持って全国を転々とさせられた。逮捕されるまで家にも帰れず、ホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けていた。

事例2 犯行グループに密告され逮捕された

- ① 特殊詐欺の「受け子」として被害者からだまし取った現金を持ち逃げしようとしたら犯行グループにばれてしまい、だまし取った現金を回収された上、密告され逮捕された。
- ② 遊ぶための金が欲しく、地元の不良グループ仲間と「闇バイト」に手あたり次第応募した。だまし取った現金を全て自分たちのものになろうと企てたが、犯行グループに密告され逮捕された。

犯行グループに密告されるとは考えたこともなかったはず



事例2 犯行グループに密告され逮捕された

特殊詐欺の「受け子」として、被害者からだまし取った現金を持ち逃げしようとしたら、犯行グループにばれてしまい、だまし取った現金を回収された上、密告され逮捕された。

遊ぶための金が欲しく、地元の不良グループ仲間と「闇バイト」に手あたり次第応募した。だまし取った現金を全て自分たちのものになろうと企てたが、犯行グループに密告され逮捕された。

事例3 「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された

警察官がサイバーパトロール中、「詐欺犯罪者」とコメントの付いた顔写真や身分証明書の画像が投稿されているのを発見した。

（「闇バイト」に応募した後、犯行グループから離脱した者に対する制裁行為と思われる）。

「犯罪」に手を染めたという事実を苦しめられる



事例3 「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された

警察官がサイバーパトロール中、「詐欺犯罪者」とコメントの付いた顔写真や身分証明書の画像が投稿されているのを発見した。（「闇バイト」に応募した後、犯行グループから離脱した者に対する制裁行為と思われる）。

というもので、「犯罪」に手を染めたという事実を苦しめられます。

2 迎える結末

(2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

- ① 「闇バイト」に気付き少年相談窓口にご相談
- ② 警察官の親身な説得により改心
- ③ 母親が警察に相談し所在不明となっていた息子を発見



勇気を持って自分から知らせることが大切

勇気を持って犯罪から抜け出した少年たちについてお話します。

検挙された少年たちは、その後の取調べにおいて、「家族や警察に相談すればよかった」と供述しています。あやしいバイトに応募してしまったなど、少しでも不安に感じる事があれば、警察に相談することで、犯罪への加担を未然に防ぐことができます。

また、仮に既に犯罪に加担してしまった場合でも、更なる重大な犯罪を行う前に勇気を持って、警察に相談することが大切です。

ここで立ち止まり、反省し更生することで、明るく幸せな将来を取り戻すことができます。

少年達が犯罪から抜けだした事例については、

「闇バイト」に気付き少年相談窓口にご相談
警察官の親身な説得により改心
母親が警察に相談し所在不明となっていた息子を発見

という事例があります。

事例ごとにみていきましょう。

事例1 「闇バイト」に気づき少年相談窓口相談

女子大学生が犯罪実行役の募集であると気付かずに応募した後、実際に犯罪行為に加担させられそうになったため少年相談窓口へ架電し助けを求めた結果、女子大学生の居場所を特定した警察に無事に発見・保護された。



少年相談窓口をいざという時は頼ろう

事例1 「闇バイト」に気づき、少年相談窓口相談

女子大学生が犯罪実行役の募集であると気付かずに応募した後、実際に犯罪行為に加担させられそうになったため、少年相談窓口へ架電し助けを求めた結果、女子大学生の居場所を特定した警察に無事に発見・保護された。

というものです。

事例2 警察官の親身な説得により改心

財布を紛失した男子高校生が警察署を訪れたが、言動に不審な点が認められたことから問いただしたところ、「闇バイト」に応募し犯行先へ移動中であることが判明した。

対応した警察官による親身な説得の結果、男子高校生は改心し、犯罪行為に加担することなく保護された。



犯罪行為に加担する前であることが大切

事例2 警察官の心身な説得により改心

財布を紛失した男子高校生が警察署を訪れたが、言動に不審な点が認められたことから問いただしたところ、「闇バイト」に応募し、犯行先へ移動中であることが判明した。対応した警察官による親身な説得の結果、男子高校生は改心し、犯罪行為に加担することなく保護された。

というものです。

事例3 母親が警察に相談し所在不明となっていた息子を発見

母親から息子が書き置きを残し所在不明になった旨の相談を受理し詳細を聴取したところ、「闇バイト」に応募していた事実が判明した。息子は、犯行グループにマイナンバーカードの写真データを送信した後、怖くなり犯罪行為への加担を拒否したが、犯行グループから執拗に脅され、自宅も知られていたことから怖くなり、犯行グループから逃げるため所在不明となっていたところ、居場所を特定した警察に無事に発見・保護された。



逃げる前に、家族や警察に相談を

事例3 母親が警察に相談し、所在不明となっていた息子を発見

母親から、息子が書き置きしを残し所在不明になった旨の相談を受理し、詳細を聴取したところ、「闇バイト」に応募していた事実が判明した。息子は、犯行グループにマイナンバーカードの写真データを送信した後、怖くなって犯罪行為への加担を拒否したが、犯行グループから執拗に脅され、自宅も知られていたことから怖くなり、犯行グループから逃げるため所在不明となっていたところ、居場所を特定した警察に無事に発見保護された。

というものです。

逃げる前に、家族や警察に相談すれば良かったと思いませんか。

今日の講話について

1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち



3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

次に、

検挙された少年たちの声

被害者の声

について、それぞれお話しします。

3 それぞれの声

(1) 検挙された少年たちの声（犯行前後の心境）その1

やりたくないけど後には引けない。警察に捕まったらどうしよう。

犯行グループから脅されて抜け出せなかった。後悔している。

捕まってしまったことで家族にも迷惑をかけてしまった。

もっと早く引き返せばよかった。

今後も犯行グループからしつこく誘われないか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ない。



まずは、検挙された少年たちの声です。

やりたくないけど、あとには引けない。警察に捕まったらどうしよう。

犯行グループから脅されて抜けだせなかった。後悔している。

捕まってしまったことで家族にも迷惑をかけてしまった。

もっと早く引き返せばよかった。

今後も犯行グループからしつこく誘われないか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ない。

(1) 検挙された少年たちの声（犯行前後の心境）その2

1回だけなら大丈夫だろう。

詐欺だと分かったが、個人情報を送り脅された後だったのでやるしかなかった。どうせ捕まるんだろうなと思っていた。

家族に相談すればよかった。捕まえてくれてありがとうございます。

「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる。家族に相談するなどして勇気を持って断って欲しい。

「受け子」などの紹介をしてくるやつは、「お前が一番かわいい後輩」「お前しかいない」「めっちゃ稼げる」「本当は教えたくないけどお前だから紹介してやる」など、言葉巧みに持ち上げてくる。しかし、裏ではパシリのようにはか思われていないのが現実。



1回だけなら大丈夫だろう。

詐欺だと分かったが、個人情報を送り、脅された後だったのでやるしかなかった。どうせ捕まるんだろうなと思っていた。

家族に相談すればよかった。捕まえてくれてありがとうございます。

「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる。家族に相談するなどして、勇気を持って断って欲しい。

「受け子」などの紹介をしてくるやつは、「お前が一番かわいい後輩」、「お前しかいない」、「めっちゃ稼げる」、「本当は教えたくないけど、お前だから紹介してやる」など、言葉巧みに持ち上げてくる。しかし、裏ではパシリのようにはか思われていないのが現実。

以上となりますが、誰一人として、「闇バイト」をして稼げた、良かったという人はいませんでした。

(2)被害者の声（80代・男性）

オレオレ詐欺の被害に遭ったのは、
昨年5月、がんを患い入院していた
妻が手術を受ける前日のことでした。

私が、妻の手術成功を願い、神社で
お参りをして帰宅したところ、自宅の
電話が鳴りました。普段であれば、留
守番電話に設定しており、すぐに電話
に出ないようにしていました。けれど
も、妻の手術に備えて、離れて暮らす
長男が自宅に来る予定もあったので、
私は、電話の相手は長男だと思い込ん
で電話に出てしまったのです。



次に被害者の声です。

80代男性は、このように話しています。

オレオレ詐欺の被害に遭ったのは、昨年5月、がんを患い入院していた妻が手術を受ける前日のことでした。

私が、妻の手術成功を願い、神社でお参りをして帰宅したところ、自宅の電話が鳴りました。

普段であれば、留守番電話に設定しており、すぐに電話に出ないようにしていました。

けれども、妻の手術に備えて、離れて暮らす長男が自宅に来る予定もあったので、私は、電話の相手は長男だと思い込んで、電話に出てしまったのです。

私は、自分の息子がトラブルに巻き込まれているのであれば何とかして助けなければという一心で、お金をかき集めました。

そのお金は、**これまでの人生で、ぜいたくをせず、妻とコツコツと貯めたお金で、将来、私と妻の老後の生活のため、そして、息子や孫達のために使うつもりだった大切なお金**でした。

犯人から再度電話があったとき、声が息子と違うような気がしました。けれども、本当に息子だったら大変なことになると思い、親心と焦る気持ちから3,000万円という大金を渡してしまいました。

80代 男性



私は、自分の息子がトラブルに巻き込まれているのであれば、なんとかして助けなければという一心で、お金をかき集めました。

そのお金は、これまでの人生で、ぜいたくをせず、妻とコツコツと貯めたお金で、将来、私と妻の老後の生活のため、そして、息子や孫達のために使うつもりだった、大切なお金でした。

犯人から再度電話があったとき、声が息子と違うような気がしました。

けれども、本当に息子だったら大変なことになると思い、親心と焦る気持ちから3,000万円という大金を渡してしまいました。

今思えば、お金を渡す前に、息子に電話して確認すれば良かったのですが、妻の病気、手術と、大変なことが重なり、そこまで思いが至りませんでした。

翌日に手術を控えていた妻には、被害に遭った当初、お金をだまし取られたことを話せませんでした。心配を掛けたくなかったからです。それでも、退院後、被害を妻に打ち明けました。妻は、私を責めることなく、優しく慰めてくれました。そんな優しい妻は、被害から2か月も経たずに、昨年7月、他界しました。

80代 男性



今思えば、お金を渡す前に、息子に電話して確認すれば良かったのですが、妻の病気、手術と、大変なことが重なり、そこまで思いが至りませんでした。

翌日に手術を控えていた妻には、被害に遭った当初、お金をだまし取られたことを、話せませんでした。

心配を掛けたくなかったからです。

それでも、退院後、被害を妻に打ち明けました。妻は、私を責めることなく、優しく慰めてくれました。

そんな優しい妻は、被害から2か月も経たずに、昨年7月、他界しました。

息子達は、私の傷口に触れないよう、今回の被害を話題にすることはありません。

それが一層心苦しいのです。

大切な人を思う気持ちを逆手に取り踏みにじる、特殊詐欺という犯罪を許すことはできません。

80代 男性



息子達は、私の傷口に触れないよう、今回の被害を話題にすることはありません。

それが一層心苦しいのです。

大切な人を思う気持ちを逆手に取り踏みにじる、特殊詐欺という犯罪を許すことはできません。

3 それぞれの声

②被害者の声（70代・女性）

私は、オレオレ詐欺の被害に2度も遭いました。2度とも、息子を思う親心につけこむ卑劣な手口でした。

1度目の被害は、6年前、息子を名乗る者から電話で、トラブルの解決に必要と言われて200万円を振り込んでだまし取られました。2度目の被害は今年の11月のことでした。またも息子を名乗る男からの電話で、現金を用意できないかと言われました。



続いて、70代女性の声を聞いてみましょう。

私は、オレオレ詐欺の被害に二度も遭いました。

二度とも、息子を思う親心につけこむ卑劣な手口でした。

一度目の被害は、6年前、息子を名乗る者から電話で、トラブルの解決に必要と言われて、200万円を振り込んでだまし取られました。

二度目の被害は、今年の11月のことでした。またも息子を名乗る男からの電話で、現金を用意できないかと言われました。

私は、親として、息子を助けることは当然のことと思い、複数の金融機関を回ってお金を下ろし、250万円を準備しました。そのお金とキャッシュカードなどを、家に取りに来た男に手渡しました。

私は、お金を渡したことで息子が助かったとすっかり安心しました。ところが、金融機関からの連絡で詐欺の被害に気付いたのです。今思い返すと、確かに不審な点はあったかもしれませんが、その時は、息子を助けたい一心だったのです。

70代 女性



私は、親として、息子を助けることは当然のことと思い、複数の金融機関を回ってお金を下ろし、250万円を準備しました。

そのお金とキャッシュカードなどを、家に取りに来た男に手渡しました。

私は、お金を渡したことで息子が助かったと、すっかり安心しました。

ところが、金融機関からの連絡で、詐欺の被害に気付いたのです。今思い返すと、確かに不審な点はあったかもしれませんが、

ですが、その時は、息子を助けたい一心だったのです。

お金だけでなく、手渡したキャッシュカードも使われて、3つの銀行口座から1,200万円、根こそぎ引き出されました。会社名義の口座から引き出された被害については、今後、私が補填していくことになり、被害直後の12月はまさに茫然自失で、気が付いたら年が明けていました。私が受けた精神的ダメージは、そのくらい大きいものでした。

70代 女性



お金だけでなく、手渡したキャッシュカードも使われて、3つの銀行口座から1200万円、根こそぎ引き出されました。

会社名義の口座から引き出された被害については、今後、私が補填していくことになり、被害直後の12月はまさに茫然自失で、気が付いたら年が明けていました。

私が受けた精神的ダメージは、そのくらい大きいものでした。

今後、このような被害に遭わないように、固定電話を使用しないこと、お金の管理は家族にしてもらうことにしました。会社名義のお金も返さなくてはならないので、生活も切り詰めなければなりません。

特殊詐欺という犯罪は、私のような被害者に借金を背負わせたり、生活を一変させたりしてしまう、卑劣極まりないものです。犯人には、お金はもちろん、私の平穏な生活を返してほしいと強く思っています。

70代 女性



今後、このような被害に遭わないように、固定電話を使用しないこと、お金の管理は家族にしてもらうことにしました。

会社名義のお金も返さなくてはならないので、生活も切り詰めなければなりません。

特殊詐欺という犯罪は、私のような被害者に借金を背負わせたり、生活を一変させたりしてしまう、卑劣極まりないものです。

犯人には、お金はもちろん、私の平穏な生活を返してほしいと強く思っています。

自殺に関する相談を受けるNPO法人代表コメント

特殊詐欺に関する相談の多くは、被害者であるにもかかわらず、財産をだまし取られたことを家族等から責められ、時には無視や差別されるなど、周囲から孤立した結果、死を選ぶという悲惨なものである。被害者が自殺した後、遺族が責任を感じ、後追い自殺した例もある。特殊詐欺の被害に遭ったことにより、二次、三次被害として被害者や遺族を死に追いやっていることから、いわば間接的殺人とも言える。

自殺に関する相談を受けるNPO法人代表コメントを紹介します。

特殊詐欺に関する相談の多くは、被害者であるにもかかわらず、財産をだまし取られたことを家族等から責められ、時には無視や差別されるなど、周囲から孤立した結果、死を選ぶという悲惨なものである。

被害者が自殺した後、遺族が責任を感じ、後追い自殺した例もある。

特殊詐欺の被害に遭ったことにより、二次、三次被害として被害者や遺族を死に追いやっていることから、いわば間接的殺人とも言える。

自殺に関する相談を受けるNPO法人代表コメント

被害者は高齢者が多く、家族の役に立ちたい、我が子、孫を救いたいとの優しい思いから被害に遭っている。自責の念に苦しむ被害者に、悪いのはあなたではなく犯人であるということを、家族も周りの方々も受入れ、社会全体が連帯責任と受け止めて被害者を支える体制をつくるのが大切だ。

被害者は高齢者が多く、家族の役に立ちたい、我が子、孫を救いたいとの優しい思いから被害に遭っている。

自責の念に苦しむ被害者に、悪いのはあなたではなく犯人であるということを、家族も周りの方々も受入れ、社会全体が連帯責任と受け止めて被害者を支える体制をつくるのが大切だ。

「闇バイト」は「犯罪」です。そして、犯罪は関わった人を不幸にします。

闇バイトの特徴

1 応募動機等

ア 金銭目的

- ・「遊興費用」・「酒・タバコ代」
- ・「借金返済」・「バイク代」
- ・「携帯電話・スマホ代」
- ・「生まれてくる子供のため」
- ・「交際者と同居するための費用」
- ・「中絶費用」

など

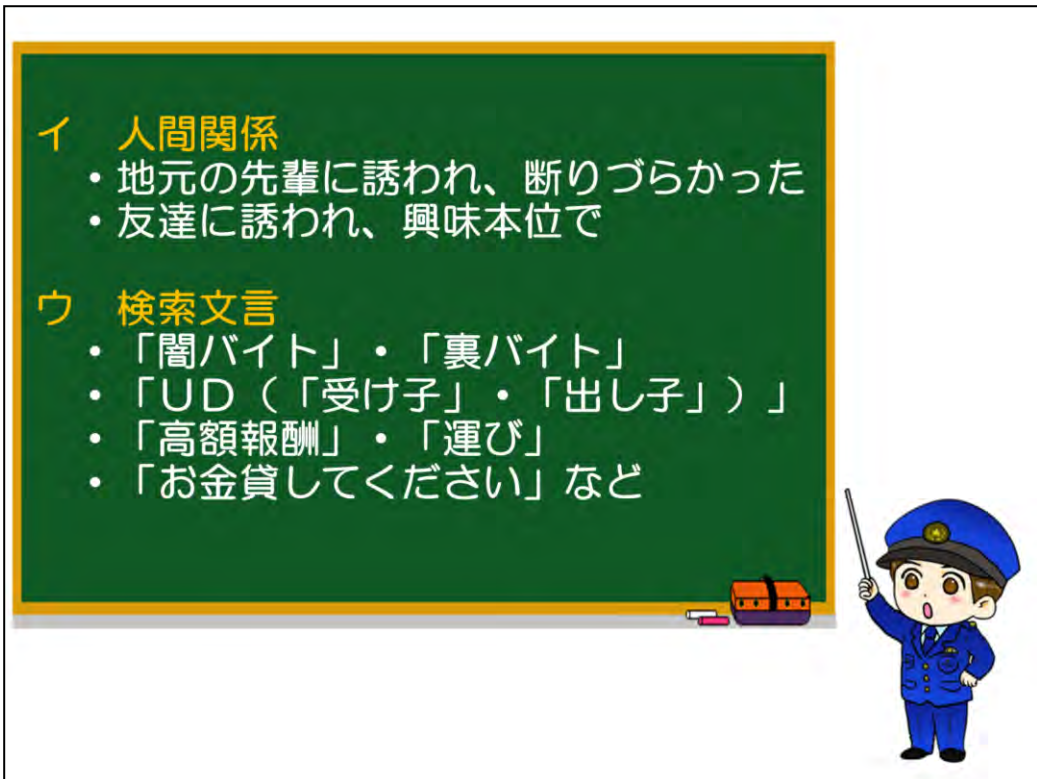


最後に闇バイトの特徴をお知らせします。

応募動機等は、

- ・「遊興費用」・「酒・タバコ代」
- ・「借金返済」・「バイク代」
- ・「携帯電話・スマホ代」
- ・「生まれてくる子供のため」
- ・「交際者と同居するための費用」
- ・「中絶費用」

などの金銭目的に起因するものがほとんどです。



応募したきっかけは、金銭目的のほか、

- ・地元の先輩に誘われ、断りづらかった
- ・友達に誘われ、興味本位で

といった人間関係に起因するものがあります。

また、検索文言は、

- ・「闇バイト」・「裏バイト」
- ・「UD（「受け子」・「出し子）」
- ・「高額報酬」・「運び」
- ・「お金貸してください」

などがあります。

闇バイトの特徴

2 犯行グループの手口

ア 募集広告の内容

- ・他の業務では考えられないような高額な報酬を掲示
- ・業務内容が不明確
- ・募集内容から要求される資格や経験が不問



犯行グループの手口についてですが、犯行グループの募集広告の内容としては、

- ・他の業務では考えられないような、高額な報酬を掲示
- ・業務内容が不明確
- ・募集内容から要求される資格や経験が不問

というものです。

イ 募集文言

- ・「高額収入」・「高額バイト」
- ・「安全に稼げます」
- ・「1件10万～、2件いけたら20万」
- ・「犯罪ではありません」・「学生可能」
- ・「国対応」・「保証金なし」
- ・「営業で地方へ出張する仕事」
- ・「高額報酬」・「リスク無し」
- ・「詳しくはDM」
- ・「ホワイト案件」・「高校生でもいける」
- ・「詐欺ではありません」
- ・「誰にでもできる簡単な仕事」

など

ウ 要求する身分証明書

- ・「学生証」・「運転免許証」
- ・「マイナンバーカード」
- ・「住民票」
- ・「キャッシュカード」など



募集文言については、

- ・「高額収入」・「高額バイト」・「安全に稼げます」
- ・「1件10万～、2件いけたら20万」
- ・「犯罪ではありません」・「学生可能」
- ・「国対応」・「保証金なし」
- ・「営業で地方へ出張する仕事」
- ・「高額報酬」・「リスク無し」・「詳しくはDM」
- ・「ホワイト案件」・「高校生でもいける」
- ・「詐欺ではありません」
- ・「誰にでもできる簡単な仕事」

などです。

要求する身分証明書は、

- ・「学生証」・「運転免許証」
- ・「マイナンバーカード」
- ・「住民票」
- ・「キャッシュカード」

などがあります。

3 コンタクトツール

ア 募集に使われることが確認されているツール

- a SNS
 - ・「X」・「Instagram」
 - ・「Facebook」・「iMessage」
- b コミュニティサイト・掲示板
 - ・「爆サイ」・「ジモティー」
- c その他
 - ・ 歓楽街の電柱に貼られたQRコード
 - ・ 自宅ポストに投函された求人チラシ
 - ・ 求人情報サイト、求人情報冊子



募集に使われることが確認されているツールのうち、SNSでは
・「エックス」・「インスタグラム」
・「フェイスブック」・「アイメッセージ」
コミュニティサイト・掲示板では
・「爆サイ」・「ジモティー」
その他
・ 歓楽街の電柱に貼られたQRコード
・ 自宅ポストに投函された求人チラシ
・ 求人情報サイト、求人情報冊子
があります。

イ やりとりに使われることが確認されている
ツール

- Telegram
- Signal
- WeChat
- DingTalk

新しいアプリはどんどん登場している
よ、聞き慣れないアプリは要注意！

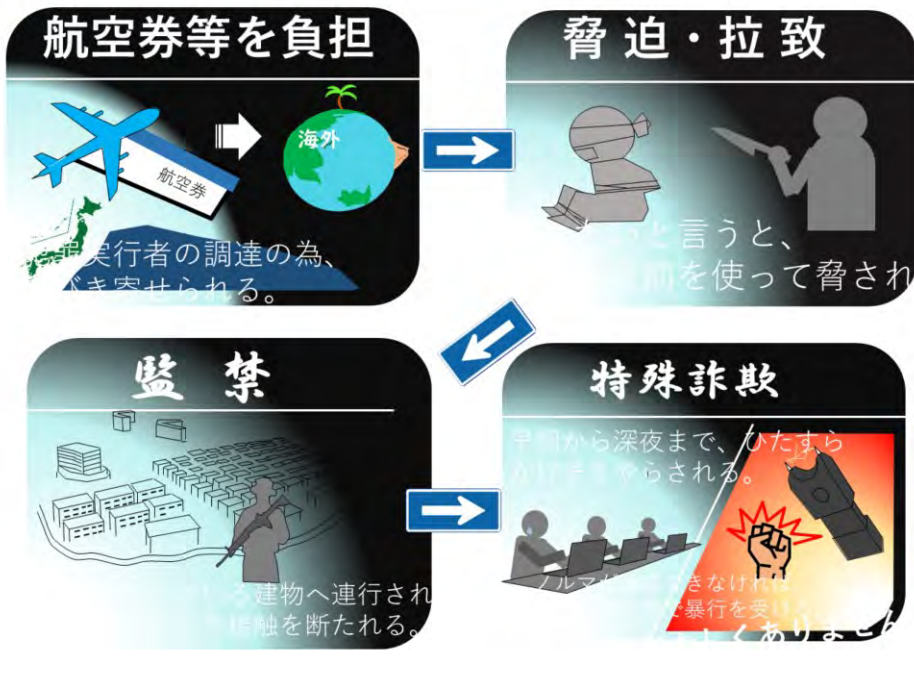


やりとりに使われることが確認されているツールは、SNSでは

- ・ テレグラム
- ・ シグナル
- ・ ウィーチャット
- ・ デイントーク

があります。

海外で儲かる仕事は危険です



オンラインゲームやインターネット等で知り合った面識もない知人から海外で儲かる仕事を誘われ、海外渡航した結果、脅迫・監禁され、犯罪に加担させられる事案が発生しています。

嘘の仕事内容を説明して、航空券を送って渡航費を負担するなどして、あなたをおびき寄せますが、実際に海外へ渡航すると、さらに国境を越えて、思いもよらない地域に連れて行かれます。

そこでは特殊詐欺の犯罪に加担することを強制されます。

海外で儲かる仕事は危険です

事例

- ・オンラインゲームで知り合った人から海外の仕事を紹介される
- ・ネット上で知り合った人から海外での仕事を紹介される
- ・借金返済のために海外の仕事を紹介される
- ・帰国したいというと暴力団の名前を使って脅される



事例を紹介します。

・オンラインゲーム上で知り合った人から海外の仕事を紹介され、海外へ渡航後、さらに違う国に密入国させられた。そしてマシンガンで武装した者が監視する建物に連れて行かれ、詐欺をさせられた。

・知り合いへの借金返済に困っていたら、知り合いの関係者から借金返済のために海外の仕事を紹介された。カンボジアへ行くことになり、軟禁されて、詐欺をさせられた。

・知り合いから海外の仕事を紹介され、中国へ渡航した。そこで詐欺をするように言われ、帰国したいというと、暴力団の名前を使って脅されたため、領事館へ助けを求め、保護された。

オンライン上で行う賭博は犯罪

賭博は犯罪

賭博罪

**50万円以下の罰金
又は科料**

常習の場合

3年以下の拘禁刑



オンラインカジノはオンライン上でゲームなどを行い、その結果に現金・暗号資産・電子マネーなどをかけるものです。

カジノのイメージがあるスロットやルーレットだけでなく、パズルゲームのようなものやスポーツや格闘技の勝敗を競うものなど、様々な種類があります。

賭博は犯罪です。

50万円以下の罰金または科料となります。

・オンラインカジノの利用を進める紹介サイトや動画にも注意しましょう。

オンラインカジノを広告したり、宣伝することも違法です。

警察へ相談してください!!

- ・闇バイトへ応募してしまった人
- ・自身や家族に危害を加えるなどと脅迫されている人
- ・犯行グループから抜きたい人

警察では相談した人や家族を保護します



闇バイトへは応募しない！誘いがあっても断る！SNSに個人情報は載せない！
が基本です。

でも、もし、

闇バイトに応募してしまった

言うとおりにしないと、自分や家族に危害を加えると脅されている

個人情報を拡散すると脅されている

犯行グループに加担してしまったが抜きたい

人は、今すぐ警察に相談してください！

警察は相談した人やその家族を保護します。

一旦犯行グループと関係を持つと、警察に逮捕されるまで脅され続けます。

自分や家族に取り返しのないことになる前に相談してください！！



闇バイトについて相談したいとき

- ・ 110番
- ・ 管轄の警察署や最寄りの交番
- ・ 匿名通報ダイヤル

0120-924-839

通話料無料

(平日10:00~17:00)

オンライン www.tokumei24.jp



警察にも相談窓口がたくさんあります。
相談しやすい窓口を選んでください。

管轄の警察署や最寄りの交番に電話する以外に、匿名通報ダイヤルもあります。

匿名通報ダイヤルは通話料無料ですが、時間が決まっているので利用するときは注意してください。

匿名通報ではオンラインでも受け付けています。「匿名通報」で検索してみてください。

緊急の場合はすぐに110番です。

少年相談コーナー

茨城県警察 少年相談コーナー  検索

少年サポートセンター

☎ 029-231-0900

✉ keishonen@pref.ibaraki.lg.jp

相談してね



みなさんはこの授業を受けてみて、「闇バイト」がどういうものかはっきりわかったはずですよ。

「闇バイト」は「犯罪」ですよ。

応募しないのが一番ですが、もし応募してしまっても、犯罪に加担する前に誰かに相談することが大切です。

「やるしかない」というのは犯行グループが言っているだけで、「やる」「やらない」を決めるのは自分自身ですよ。

個人情報を取られて怖いかもしれませんが、警察に相談していただければ、警察はあなたと家族を守ります。適切に対応します。

もう一度言います。犯行に加担する前に誰かに相談してください。

もし、身近な人には相談しづらいときは、少年相談コーナーというのがありますので、ぜひ相談してください。

電話をかけづらいときは、メールの相談でも大丈夫ですよ。

一人で抱え込まずに、問題にどのように対応していけばよいか、一緒に考えていきましょう。

これでこの授業を終わりにします。

ありがとうございました。